



国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No. 271

2022.1-2

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2022年1月1日
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

吉田館長より新年のご挨拶

謹んで新春のご挨拶を 申しあげます。

昨年は、国立民族学博物館友の会を運営する千里文化財団にとって、公益財団法人へと移行した節目の年となりました。これからも、より充実した友の会事業をめざし、文化人類学の知見を生かした正確な情報を会員のみなさまに提供できるよう、職員一同努めてまいります。また、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により国立民族学博物館も再度の臨時休館を余儀なくされましたが、みなさまのお力添えにより友の会の活動を継続することができました。心より御礼申しあげます。今後とも引き続き変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



明けましておめでとございます。
本年もどうぞよろしく願いたします。

新型コロナウイルス感染症の流行も落ち着きを見せ始め、ようやく出口が見え始めたといったところでしょうか。ただ、新たなオミクロン株の出現もあり、海外での流行は留まるところを知らず、まだまだ感染防止には気の抜けない日々が続きます。

新しい年、二〇二二年は、民博にとって、また民博の所属する人間文化研究機構にとって、そして日本の国立大学、大学共同利用機関全体

にとつて、新しい出発のときを迎えます。六年をひとくくりにして進められてきた中期目標・中期計画の第三期が今年三月で終了し、四月からは次期の第四期が始まるためです。

民博の「特別研究」や「フォーラム型情報ミュージアム」のプロジェクトも、新たななかたちで再出発することになります。また、博物館については、ICT(情報通信技術)も活用しつつ、最新の研究成果を、よりわかりやすくかつ迅速にみなさまにお伝えしていく一方、障害をおもちの方や高齢者の方々も含め、だれもが楽しめる展示の実現をめざした、展示場のユニバーサル化を大胆に進めます。

私どもは、今後とも、開かれた博物館づくりに精進してまいります。友の会のみなさまの引き続きのご支援を心よりお願いいたします。

新しい年がみなさまにとりまして実り多い年でありませう、お祈りしております。

国立民族学博物館長 吉田 憲司

企画展

躍動するインド世界の布

会期 2022年1月25日(火)まで
会場 本館企画展示場

インド世界の布は、場をくぎり、人をつなぎ、神と人の媒介となり、政治をうごかし、グローバル経済をうみだします。このように躍動する布の現場に光を当て、インド社会をつくりだしている人びとの営みを多彩な布とともに紹介します。



みんぱくオリジナル

トーテムポールTシャツ

2020年にみんぱくの正面広場に建てられたトーテムポールがTシャツになりました。一般販売に先立ち2022年2月まで会員先行販売をいたします！サイズはS.M.L.XLの4種類、白地にトーテムポールがブラウン系の色でプリントされています。

会員価格 2,430円(税込)

定価 2,700円(税込)

お問い合わせ

みんぱくミュージアム・ショップ(水曜日定休)

e-mail shop@senri-f.or.jp

オンラインショップ「World Wide Bazaar」

https://www.senri-f.or.jp/shop/

ひと足お先に
お届けします！



みんぱくゼミナール、映画会 会員先行予約のご案内

みんぱくゼミナール、みんぱく映画会には維持会員、正会員、家族会員のみなさまを対象に先行予約がございます。
会員先行予約は該当期間中に事務局までご連絡ください。会員先行予約が定員に達した場合は、一般受付をご利用ください。
催しの詳細、オンライン受付については、みんぱくホームページ内の各催しのご案内をご確認ください。



館内催しの詳細はこちら！ <https://www.minpaku.ac.jp/event/>

みんぱくゼミナール

第517回

大規模災害の経験を伝える

——遺構・記念碑・語り部・博物館の役割

講師 林 勲男(民博教授)

日時 1月15日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①みんぱくインテリジェントホール(講堂)[定員160名]
②オンライン(ライブ配信)[定員300名]

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
※受付期間は終了しました。

■一般受付
・オンライン予約
期間：1月12日(水)まで
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

第518回

遙かなる山々

——アンデス文明探求40年の軌跡

講師 関 雄二(民博教授)

日時 2月19日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①みんぱくインテリジェントホール(講堂)[定員160名]
②オンライン(ライブ配信)[定員300名]

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：1月7日(金)~14日(金)
※先行受付は会場参加が対象です。

■一般受付
・オンライン予約
期間：1月17日(月)~2月16日(水)
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

第519回

【特別展「焼畑——佐々木高明の見た五木村、そして世界へ」関連】

焼畑は環境破壊であるか？

——佐々木高明の研究とその後の展開

講師 池谷 和信(民博教授)

米家 泰作(京都大学教授)、佐藤 簾也(大阪大学教授)

日時 3月19日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①みんぱくインテリジェントホール(講堂)[定員160名]
②オンライン(ライブ配信)[定員300名]

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：2月14日(月)~18日(金)
※先行受付は会場参加が対象です。

■一般受付
・オンライン予約
期間：2月21日(月)~3月16日(水)
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

みんぱく映画会

みんぱく映画会・第50回みんぱくワールドシネマ

テルアビブ・オン・ファイア

司会・解説 菅瀬 晶子(民博准教授)

日時 2月12日(土)13:30~15:50(開場13:00)

会場 みんぱくインテリジェントホール(講堂)[定員160名]

※事前申込先着順、要展示観覧券。オンライン配信はございません。

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：1月5日(水)~12日(水)

■一般受付
オンライン・電話・メール予約
期間：1月13日(木)~2月4日(金)

みんぱく映像民族誌シアター <館外で開催>

みんぱく製作のDVD「みんぱく映像民族誌」シリーズの収録作品を上映します。

会場 シアターセブン(大阪・十三)

参加方法 ①シアターセブン[定員26名]

②オンライン(ライブ配信)[定員100名]

※事前申込先着順。

みんぱく映画会・みんぱく映像民族誌シアター

インドの染色職人カトリー

——カッチ地方の絞り染めと更紗

解説 上羽 陽子(民博准教授)、金谷 美和(国際ファッション専門職大学准教授)

司会 南 真人(民博教授)

日時 2月23日(水・祝)13:30~16:00(開場13:00)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員5名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：1月11日(火)~17日(月)
※先行予約は会場参加が対象です。

■一般受付
オンライン予約
期間：1月18日(火)~2月18日(金)

申込方法

◆友の会電話先行受付

会場参加のみ/申込先着順/本人を含む2名まで

【申込先】千里文化財団友の会事務局

電話 06-6877-8893 (9時~17時、土日祝を除く)

◆一般受付

申込先着順/本人を含む2名まで

みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。
オンライン以外の受付方法については、みんぱくホームページならびに
フライヤーをご確認ください。

いずれも参加無料(2/12の映画会のみ会場参加は要会員証または展示観覧券)。
ゼミナール・映画会に会場参加でご予約の方には入場整理券を当日11時から
本館2階みんぱくインテリジェントホール(講堂)前にて配布します。

news

浙江大学 人類学研究所図書館に『季刊民族学』を寄贈しました！

国立民族学博物館と浙江大学 人類学研究所図書館(中国)は、相互の学術交流・協力を推進し、学術研究、教育及び社会の発展に貢献するため、2016年4月に協定を締結しました。同館には、みんぱくから寄贈した書籍を配架する「民博文庫」があります。このたび千里文化財団より『季刊民族学』1~178号を寄贈し、贈書証書が届けられました。写真は、贈書証書をもつ浙江大学の阮雲星先生(左)と中牧弘允千里文化財団理事長(右)。阮先生は、みんぱくの元外来研究員でもあります。



1月・2月のイベントスケジュール

◆企画展

1/25(火)まで「躍動するインド世界の布」

●友の会講演会【要予約】

1/8(土)神野知恵(※)、2/5(土)関雄二(※)

●みんなくゼミナール【要予約】

2/19(土)関雄二(※)

3/19(土)池谷和信、米家 泰作、佐藤 簾也(※)

●みんなくウィークエンド・サロン

1/9(日)岡田恵美、1/16(日)杉本星子、上羽陽子

1/23(日)丹羽典生、1/30(日)三島禎子

2/13(日)卯田宗平、2/27(日)藤本透子

●みんなく映画会【要予約】

2/12(土)テルアピブ・オン・ファイア

●その他の催し

1/5(水)みんなく友の会オンライン新年会(★)

<受付終了>

1/8(土)、9日(日)年末年始 干支ガイドマップ「みんなく

トラの巻」配布イベント

【館外での催し】

みんなく映画会・映像民族誌シアター【要予約】

1/22(土)土と火と水の葬送——バリ島の葬式(※)

1/29(土)アシェンダ!

——エチオピア北部地域社会の女性のお祭り(※)

2/6(日)王の祭り

——仮面の王国マンコン、カメルーン高地(※)

2/23(水・祝)インドの染色職人カトリー

——カッチ地方の絞り染めと更紗(※)

◆都合によりスケジュールを変更する場合があります。

◆予約の必要な催し、すでに満席になっている催しがございます。また、会場とオンライン配信の併用(※印)、もしくはオンライン配信のみ(★印)で実施する催しもございます。詳細はホームページをご確認ください。

◆イベントの参加には必ず会員証をご持参ください。

みんなく友の会オンラインレクチャー

みんなくの研究者によるレクチャー動画を、友の会のホームページで公開しています。友の会の機関誌『季刊民族学』との連動企画も更新中。書籍とあわせてお楽しみください。

<https://www.senri-f.or.jp/category/events/online/>



ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



友の会講演会のご案内

事前申込先着順です。

友の会ホームページ内の受付フォームをご利用ください。

会場とオンライン配信いずれかの方法でご参加ください。

ご参加は下記の会員種別のみなさまが対象です。

維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、キャンパスメンバーズ、特別フリーパスをお持ちの方

・みんなく館内でのご参加は、第5セミナー室(定員42名)が満席の場合、中継会場(第3セミナー室/定員17名)にご案内します。

・会場での聴講は、会員以外の方にもご参加いただけます(資料代500円)。

第520回

参加方法をお選びください(会場もしくはオンライン)

家を廻る芸能のいま

——伊勢大神楽の活動を中心に

講師：神野 知恵(人文知コミュニケーション、民博特任助教)

日時：1月8日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

参加方法：①第5セミナー室での参加

②オンライン(ライブ配信)での参加

世界各地には、寺社や舞台上で演じる芸能だけでなく、芸能者が家々を訪れて演じる芸能が見られます。日本にも専門芸能者による「門付(かどづ)け」が多様に存在しましたが、その多くは戦後に姿を消しました。今回の講演では、現在も西日本で厄祓いの巡行を続ける伊勢大神楽について紹介し、彼らの活動の継続性の理由を探ります。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/520tomo/>



第521回

参加方法をお選びください(会場もしくはオンライン)

記憶が生まれる、記憶をつむぐ

——南米アンデス文明の文化遺産保護の道のり

講師：関 雄二(民博教授)

日時：2月5日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

参加方法：①第5セミナー室での参加

②オンライン(ライブ配信)での参加

講演者は、過去40年以上にわたってアンデス文明の形成過程を追うかたわら、文化遺産の保護を地域住民とともに実施してきました。本講演では、その足跡を辿るとともに、地域住民が抱く文化遺産に関する記憶に注目し、文化遺産保護の共創プロジェクトを実現する方法を考えます。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/521tomo/>



第522回

参加方法をお選びください(会場もしくはオンライン)

病の語りにさぐる

——産後風と韓国女性の生活

講師：諸 昭喜(民博助教)

日時：3月5日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

参加方法：①第5セミナー室での参加

②オンライン(ライブ配信)での参加

韓国では、産後に適切なケアを受けることができなかった時に発症する「産後風(サムブン)」とよばれる病があります。これはどんな病気、なぜ人びとに広く知られているのか、なぜ女性たちは共通した思いをもっているのかなどを、病についての語りから紹介します。また、病をとおして韓国社会の女性が経験してきた生活についても考えます。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/522tomo/>



◆◆◆ 年末年始の休館・休業のお知らせ ◆◆◆

国立民族学博物館と友の会事務局は 2021年12月28日(火)から 2022年1月4日(火)まで休館・休業いたします。

■第517回 ■2021年10月2日(土) ※オンライン配信で開催

【特別展「ユニバーサル・ミュージアム——さわる！「触」の大博覧会 関連】

さわる名画ができるまで

——その多様性と可能性

辰巳 明久(京都市立芸術大学教授)、京都市立芸術大学の学生有志

楠田 雅史(京都市立芸術大学教授)、広瀬 浩一郎(民博准教授)

京都市立芸術大学では、二〇二〇年度三回生の授業課題として、名画を立体化して二次創作する「さわる絵画」の制作に取り組みました。学生一六名の作品は、二〇二一年秋に民博で開催した特別展「ユニバーサル・ミュージアム」に出展されました。

この授業課題は「多くの視覚障害者は絵画の鑑賞を望んでいる。著名な絵画作品を『さわる絵画』にできないか」という広瀬先生の問いかけをもとに生まれました。広瀬先生は「さわる絵画」と「さわれる絵画」を明確に区別しているといいます。絵画や写真などの視



特別展示場をかざる学生たちの「さわる絵画」(2021年)

覚芸術を視覚障害者がさわってもわかるように翻案した「さわれる絵画」とは異なり、さわることで、目の見える人も視覚的な鑑賞を超える体験が得られる絵画作品を「さわる絵画」と位置づけているそうです。

学生たちは、視覚的な情報伝達を前提とするビジュアルデザインを専攻しています。しかし、視覚に働きかけて情報を伝えられない場合、触覚や聴覚など、視覚以外の感覚を駆使して表現しなくてはなりません。名画を立体化するには、作品の魅力や特徴をつかみ、「見る表現」を「さわる表現」に置き換えるための工夫が必要です。視覚だけに頼らず、五感を用いて情報を伝達するデザイン力を養うこと、障害の有無に限らず、さまざまな立場の鑑賞者について考える機会を得ることが、この授業の大切な目的なのだ、辰巳先生よりお話しいただきました。

学生からは、名画のもつ質感や温度感までも再現する工夫が紹介されました。鑑賞者、制作者双方の立場から「さわる絵画」の可能性を考えることのできた講演会でした。(文・事務局)

本講演会は、『季刊民族学』179号(2022年1月末日発行号)で誌上再録をする予定です。教員3名によるアフタートークを加えるほか、学生たちの作品づくりにおける創意工夫の数々についても詳しく紹介いたします。

■第518回 ■2021年11月6日(土)

カファイル・カラ遺跡の食糧庫跡

——発掘調査成果から考える「食」の過去と現在

寺村 裕史(民博准教授)

カファイル・カラ遺跡は、中央アジアのシルクロード都市であるサマルカンド(ウズベキスタン共和国)の中心部から、南東方向に二〇キロメートルほど離れた場所に立地しています。遺跡からは、焼けて炭化してはいましたが、二〇一七年度までの調査でゾロアスター教関連の木彫り板絵が発見されました。また、その後の発掘調査では、板絵が発見された部屋とは別の部屋から、水や油(あるいは酒)が入っていたのではないかと考えられる約一〇個体の大甕おほがらや、大量の炭化穀物類が出土しました。炭化物には、ムギやアワと考えられるイネ科の穀物のほかに、円形や細長い形状の豆類、クルミやニンクなどが確認されています。穀物類とともに出土した小型壺のなかには、ハチミツの可能性がある固形炭化物が残っていました。その他、ヒツジやウシなどの大量の動物骨が出土しており、食用に供されたものと推測できます。これらはカファイル・カラ遺跡に人が住んでいた当時の食生活を復元するうえで貴重な発見であり、そうした一連の成果から、この部屋が食糧庫(貯蔵庫)として使



食糧庫と考えられる部屋の発掘調査風景 (2019年)

用されたものと考えています。

今回の講演では、食糧庫跡と考えられる部屋の発掘調査成果を紹介しつつ、わたしが監修したウズベキスタンの食に関連するビデオトーク番組も視聴しました。写真だけでなく映像も活用することで、出土した遺物(炭化した穀物類やクルミ、ニンクなど)と現在の食べもの(料理)の比較をおとして、オアシス都市での「食」の過去と現在について、時間を超えた共通点や相違点を考えるための題材としました。

本紙掲載の情報は、2021年12月16日時点で決定している内容です。新型コロナウイルス感染症の影響等により急遽予定を変更する可能性があります。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会
公益財団法人千里文化財団

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園 10-1 (国立民族学博物館 3 階)
電話 06-6877-8893 (9:00~17:00、土日祝を除く)
FAX 06-6878-3716
email minpakutomo@senri-f.or.jp
HP https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/

